

情報通信審議会 情報通信技術分科会 電波利用環境委員会

電波防護指針の在り方に関する検討作業班（第12回）

電力密度評価方法作業班（第7回）

合同会議 議事概要

1 日時：令和4年12月26日(月)13:30~15:15

2 場所：Web会議開催

3 出席者：

(1) 構成員

【電波防護指針の在り方に関する検討作業班】

平田主任、牛山主任代理、柿沼構成員(※)、上村構成員、小島構成員、小寺構成員、佐々木構成員(※)、日景構成員、増田構成員、松本構成員、宮越構成員、多氣オプザーバー（以上12名）

【電力密度評価方法作業班】

大西主任、石井主任代理、伊藤構成員、鵜飼構成員、大前構成員、柿沼構成員(※)、金子構成員、佐々木構成員(※)、田村構成員、富樫構成員、長谷川構成員、東構成員、東山構成員、柳構成員、山本構成員（以上15名）

※柿沼構成員及び佐々木構成員は、両作業班を兼務している。

(2) 関係者

(株)三菱総合研究所 丸田氏

(3) 事務局（総務省総合通信基盤局電波部電波環境課）

内藤電波環境課長、島田電波利用環境専門官、藤原課長補佐

4 概要

開会に当たり、電波防護指針の在り方に関する検討作業班の主任代理として牛山構成員が、電力密度評価方法作業班の主任代理として石井構成員が指名された。

議題（1）に関し、事務局から資料12/7-3「検討の進め方」に基づき説明した。

議題（2）に関し、多氣オプザーバーから資料12/7-4「電波防護指針の概要」に基づき説明し、質疑を行った。

議題（3）に関し、平田主任から資料12/7-5「ICNIRP および IEEE/ICES に関連する動向」に基づき、大西主任から資料12/7-6「電力密度評価方法に関する国際標準化動向」に基づき、丸田氏から資料12/7-7「人体に近接して使用される6GHz以上の無線設備の適合性評価方法に関する諸外国の動向」に基づき説明し、質疑を行った。

議題（4）に関し、金子構成員から資料12/7-8「6GHz帯無線LAN適合性評価の事例と課題」に基づき説明し、質疑を行った。

(以上)